NSW 州保健省

ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン接種

保護者向け資料

オーストラリア政府は、全国予防接種プログラム（NIP）の下で、一部のワクチンを無料で提供しています。

Q. HPV とは何ですか？どのように感染が広がりますか？

HPV（ヒトパピローマウイルス）は、一般的なウイルスで、男性と女性の両方に影響を与えます。それは、ウイルスを持っている人との性行為中に、性器接触によって広がります。ウイルスは、皮膚の小さな傷から体内に侵入し、血液や他の体液を通じて感染することはありません。コンドームは性器の皮膚全体を覆わないため、その保護力は限られています。

HPV のすべての型が症状を引き起こすわけではありません。HPV に感染している多くの人は、自分が感染していることに気づいていません。

一部の HPV 型は、体のさまざまな部分、特に性器（外陰部、膣、子宮頸部、陰茎、陰嚢、肛門、会陰）にいぼを引き起こします。普通いぼは痛みませんが、かゆみや不快感を感じる場合があります。これらの型は、がんを引き起こすことがないため、「低リスク」とみなされます。

その他の「高リスク」とみなされる HPV 型は、異常な細胞の増殖につながる可能性があります。これらの細胞は、治療を受けないと、がんに進行することがあります。

高リスクな HPV 型は以下の原因となります。

- **ほぼすべての子宮頸がん**
- **90%の肛門がん**
- **78%の膣がん**
- **60%の喉のがん**
- **25%の外陰がん**
- **50%の陰茎がん**

男性にワクチン接種を行うことで、男性特有のがんやいぼを予防でき、女性の子宮頸がん予防にも役立ちます。

Q. ワクチンはどのように作用しますか？

ワクチンは、免疫系が感染症と戦うのを助けます。予防接種を受けた人がこれらの感染症に接触した場合、免疫系がより効果的に対処できるため、その発症を予防したり、症状を軽減することができます。

Q. どのワクチンが使用されますか？

9 種類の HPV(6、11、16、18、31、33、45、52 、58) を予防する HPV ワクチンが使われます。

Q. HPV ワクチンの接種は何回受ける必要がありますか？

研究によると、HPV ワクチンの予防効果は、接種回数が１回でも２回でも変わらないことが分かっています。これに基づき、オーストラリアでは現在、１回接種のスケジュールが採用されています。

免疫系が弱い一部の若者は、３回の接種が必要です。２回目の接種は最初の接種から２ヶ月後に、３回目は２回目の接種から４ヶ月後に受ける必要があります。

免疫系が弱い人には、次に該当する人が含まれます。

- **免疫系障害**
- **HIV 感染**
- **がん**
- **臓器移植**
- **自己免疫疾患**
- **強力な免疫抑制療法（脾臓の問題を除く）**

子供がすでに１回接種を受けている場合は、どうすればいいですか？

お子さんがすでに１回接種を受けている場合、２回目は必要ありません。ワクチン接種は完了しています。

ワクチン接種を受けた女性でも、定期的な子宮頸がん検診（以前のパップスミア）は必要です。HPV ワクチンは、すべての HPV 型に対して予防効果があるわけではありません。25 歳以上の女性は、ワクチン接種を受けていても、５年に一度、子宮頸がん検診を受けるべきです。

Q. 誰が HPV ワクチンの接種を受けるべきですか？

すべての７年生の学生または 12 歳以上の子供は、HPV ワクチンを１回受けるべきです。

Q. HPV ワクチン接種を受けるべきでないのは、どのような人ですか？

次に該当する人には、HPV ワクチンを投与しないでください。

- **妊娠している、あるいはその可能性がある**
- **以前に HPV ワクチンを接種した時、またはこのワクチンの成分に対して、重度のアレルギー反応（アナフィラキシー）を起こしたことがある**
- **酵母アレルギーがある**

Q. HPV ワクチンの効果はどの程度ですか？

HPV ワクチンは、女性の子宮頸癌の 90% 以上を引き起こす高リスクの HPV 型を予防します。また、男性特有のがんを引き起こす他の HPV 型に対しても予防効果があります。

研究によると、ワクチンは接種後 10 年以上経過した後でも、ほぼ 100%の予防効果があることが分かっています。ワクチン接種プログラムの導入以来、次の結果が見られています。

- **ワクチンを受けた年齢層は、高度異形成の子宮頸部異常が 50%減少**
- **青少年（21 歳未満）の陰部イボの発生率が 90% 減少**

子宮頸がんは 10 年以上かけて進行するため、このワクチンが子宮頸がん発症率低下に与える効果が完全に明らかになるまでは、時間を要します。子宮頸がんの発症率は、1991 年に開始された全国子宮頸がん検診プログラムと、2007 年に開始された HPV ワクチンプログラムのおかげで、すでに大幅に減少しています。

Q. HPV ワクチンには何が含まれていますか？

HPV ワクチンには、酵母、アルミニウムアジュバント、塩化ナトリウム、L- ヒスチジン、ポリソルベート、ホウ酸ナトリウムが含まれています。これらは、ワクチンの作用促進や保存を助けるために、微量含まれています。

Q. ワクチンはどれくらい安全ですか？

オーストラリアで使用されているワクチンは安全です。薬品・医薬品行政局（TGA）から承認を得る前に、安全性に関する厳しい検査を通過する必要があります。使用開始後も、TGA がワクチンの安全性を監視しています。

Q. HPV ワクチンにはどのような副反応がありますか？

副反応は一般的に軽度で、接種部位に痛み、腫れ、または赤みが見られることがあります。これらは通常、数日以内に消失します。重篤な副反応は非常にまれです。

副反応の詳細については、health.nsw.gov.au/schoolvaccination で、消費者向け医薬品情報 (CMI) をご確認ください。

副反応について心配な場合は、かかりつけの医師にご相談ください。最寄りの公衆衛生課に副反応について報告することも可能です。

Q. アナフィラキシーとは何ですか？

アナフィラキシーは重度のアレルギー反応で、素早く対処しなければ、意識を失ったり、死に至る場合もあります。これが、ワクチン接種後に発生するのは非常に稀です。ワクチン接種を行う医療従事者は、アナフィラキシーに対処するための訓練を受けています。